



# もしもに備えて今から知っておいて 損はない、訪問看護の基礎知識

介護保険を利用する訪問看護と民間の訪問看護  
それぞれの長所を組み合わせ、住みなれた場所でその人らしい生活を送る

離れて暮らしていた父親が脳卒中で倒れ、入院したと母親から連絡が入りました。幸い命に別条はありませんでしたが、軽いマヒが残り、しばらくはハビリに励むことになりました。退院後に備えて介護申請をし、ようやく一安心したところで、「そろそろ退院を考えてほしい」と病院から連絡が…あなたなら、どうしますか？

退院すると言っても、親世代は入院する前と同じような健康状態ではありません。身体レベルは下がっているのが現実です。高齢の母親一人に看護を任せるといってもいけません。しかし子世代も仕事があるため、長期間休も取れません。介護保険を利用してもヘルパーに身の回りの世話をお願いできても、病状が心配…

そんな場合に利用できる安心なのが「訪問看護」サービスです。介護保険を使った訪問看護とは、要介護認定を受けて要支援か要介護と判定された人が利用できるサービスで、訪問看護ステーションの看護師などが家庭を訪問して、主治医の指示のもと療養上の世話や医療行為を提供します。親世代の心身の状態に応じて、血圧や体温、脈拍などを観察した上で、助言、病状の観察、身体清拭や洗髪、入浴介助、食事や排せつの介助などの療養上のケア、医療機器の管理、床ずれの予防や処置、認知症ケアなどを行います。

介護保険を使った訪問看護は利用料金の自己負担が軽くすむという点、要介護度によって月々の利用限度額が決まっているため、「頻りに訪問してほしい」「長時間の見守りしてほしい」など希望しても、制度上の制約があります。

さらに深みのある看護を提供できると考えています。オーダーメイドだから利用時間や回数はもちろんサービス範囲も限定せず、看護だけでなく身体介助や家事援助も行います。場所も制約がないので、家族に代わって施設や病院で付添うこともできます。「時間には追われながらの看護と違い、ひとりのために必要な看護を必要だけ提供できるの、人間が本来持っている生命の可能性を引き出すことができます。」

また外泊や外出、旅行などスポット的な利用もできます。「ご家族にとって大切な思い出となる時間は、その長さによりません。」久々湊さんが印象に残っているのは「祖母を結婚式に出席させた」とおっしゃる新婦さんの希望をかかえるために、結婚式にお付添いしたこと。認知症の進行によりお孫さんの顔も忘れてしまったというお客様が、式も終わろうとしているときに「あんなに大きくなって」と大粒の涙をこぼされました。「花嫁さんがお孫さんだとわかった瞬間の喜びに満たされた表情が忘れられません。」

## ニーズに応じて 様々な使い方ができる 民間の訪問看護サービス

介護保険で対応できない場合は、民間の訪問看護サービスも選択肢に入れてはどうでしょうか。民間の訪問看護で提供できる医療行為は、介護保険を利用する訪問看護と違いはありませんが、利用回数や利用時間に制限はないので、24時間365日いつでも利用することが可能です。また提供できるサービスに看護や介護といった区分をつけず、看護行為はもちろん、身体介護や家事援助もまとめて頼めるサービス会社もあります。全額自己負担にはなるものの、親世代や家族のニーズに応じて様々な使い方ができるのが一番の魅力でしょう。

たとえば退院してすぐの不安の大きい時期は、24時間集中的に看護サービスを利用することもできます。また自宅での生活に慣れるまでは、民間の訪問看護と介護保険の訪問看護を併用し、落ち着いたら介護保険の訪問看護だけに切り替えることもできます。昼間はホームヘルパー、夜間は看護師と、時間帯によって使い分けるという利用方法もあります。家族が看護をする際、最も不安な夜の吸引などの医療処置の方法や医療機器の使い方、家族がマスターするまで丁寧な教えてもらうことで、家族だけで在宅療養ができるようになる可能性もあります。

ほかに、通院時に看護師が付くような存在として、医師の言葉や検査データの意味、今後の見通しを噛み砕いて説明してもらうこともできます。入院中の外出や外泊の際も、看護師に付き添ってもらえば親世代はもちろん家族も安心して受け入れることができます。

介護保険を利用した訪問看護サービスは、家族の看護を前提として、看護師が訪問した短時間に医療ケアを行い、再び家族にバトンタッチをするという、いわば「点」のサービス。それに対して民間の訪問看護サービスは、親世代と子世代の生活をトータルでケアする、「線」のサービスだと言えるでしょう。民間の訪問看護サービスも社会資源のひとつ。病気がなったり介護が必要になっても、住みなれた地域や自宅で、親世代がその人らしい生活を送ることができるように、介護保険の訪問看護サービスと民間のサービスの特徴や長所をうまく組み合わせ利用してはどうでしょうか。

# お客様との信頼関係を築くためには、 お客様の気持ちにどれだけ寄り添えるかがカギ

## 丁寧に家族の想いを汲み取り、看護チームでサポート 「スーパーナース」のオーダーメイド看護「プラチナケア24」

家族関係の多様化を受けて介護ニーズも変化する中、「スーパーナース」はご家族との対話から隠れたニーズや想いを引出し、看護プランに反映させていきます。

「まず丁寧にヒアリングを行い、ご家族の不安や希望をお聞きし、具体的な看護プランを組み立てていきます」と、プライベート看護事業部の立ち上げ時から数多くのお客様に看護サービスを提供してきた久々湊さん。お客様ごと

にオーダーメイドで作られた看護プランは、お客様に合わせて編成された専任の看護チームによって提供されます。大切なご家族への想いは複雑で深いもの。丁寧に看護を提供すれば満足してもらえるとは限りません。お客様との会話から、ご家族の歴史や背景をひも解いていくことはよくあることだそうです。「そういった細かな情報を看護チーム全体で共有することで、

さらに深みのある看護を提供できると考えています。」

また外泊や外出、旅行などスポット的な利用もできます。「ご家族にとって大切な思い出となる時間は、その長さによりません。」久々湊さんが印象に残っているのは「祖母を結婚式に出席させた」とおっしゃる新婦さんの希望をかかえるために、結婚式にお付添いしたこと。認知症の進行によりお孫さんの顔も忘れてしまったというお客様が、式も終わろうとしているときに「あんなに大きくなって」と大粒の涙をこぼされました。「花嫁さんがお孫さんだとわかった瞬間の喜びに満たされた表情が忘れられません。」



プライベート看護事業部  
看護師  
久々湊あけみさん  
聖マリアンナ医科大学看護専門学校卒業後、聖マリアンナ医科大学病院勤務。至誠会第二病院 等の勤務を経て、有料老人ホーム2件の立ち上げと施設長を経験し、2001年より株式会社スーパーナース プライベート看護事業の立ち上げから参画し、現在に至る

「スーパーナース」は、24時間365日の看護を通してオヤノコト世代の家族を想う気持ちに寄り添う頼もしいパートナーです。

### Q チーム内の看護師どうし、お客様との情報の共有は？

A 日々の看護記録のほかに、その日あったことを看護師がご家族が記入するノートを活用しています。日中、仕事で忙しかった奥様は、「夫の様子が手に取るようにわかるので、安心して仕事に集中することができます」と喜んでくださいました。

### Q ほかの介護事業者との連携は？

A 介護保険サービスのスタッフも同じお客様をケアするチームの一員という意識を持って連携しています。必要な場合は主治医、ケアマネジャーなどと連絡や相談をしています。



24時間・365日。安心のオーダーメイド看護。  
**プラチナケア24**

ご相談・資料請求は  
株式会社スーパーナース プライベート看護事業部  
**0120-600-752** (月~金 9:00~18:00)  
<http://www.supernurse.co.jp/homecare/>

	看護	介護	家事援助
民間サービス利用 (全額自己負担)	← 民間の訪問看護サービス →		
		自費のホームヘルパー 介護タクシー	家事代行サービス 宅食サービス
介護保険利用 (自己負担1割)	← 介護保険のサービス →		
	訪問看護	訪問介護、訪問入浴 デイサービスなど	